

とんぐい村の こみ・すく通信

令和2年4月27日発行 第1号
更別村コミュニティ・スクール委員会事務局(教育委員会)

コミュニティ・スクール を推進する魅力は？

昨年度から始まった更別村コミュニティ・スクール(CS)。村内の小中学校に学校運営協議会を設置し、学校と地域がパートナーとして連携・協働する「地域とともにある学校」を目指しています。

コミュニティ・スクールに取り組むことによって、主に以下のような魅力があるとされています。

【子どもたちにとって】

- ・ 学びや体験活動が充実する。

【教職員にとって】

- ・ 地域の人々の理解や協力を得た学校運営が実現する。

【保護者にとって】

- ・ 地域の中で子どもたちが育てられているという安心感が強まる。

【地域の人々にとって】

- ・ 経験を生かすことで、生きがいや自己有用感につながる。

未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、学校と保護者・地域の皆様がともに手を取り合って、地域総がかりで教育を実現していくことが必要です。コミュニティ・スクール(CS)は、そのための仕組みです。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、学校は臨時休校に入るなど会議もできない状況ですが、早く本来の形になることを祈るばかりです。

CS(コミュニティ・スクール)コーディネーターとして着任しました宝輪祐子です。

今年度から専任となりました。今年の3月まで更別中央中学校に勤務。更別村には、教員として通算17年間お世話になりました。微力ですが、故郷のために少しでもお役に立てればと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

子どもたちのためにマスク作り 地域の方々が力を合わせて

新学期が始まって間もなく、更別小学校から「子どもたちが毎日マスクをして登校しているが、マスク不足が深刻だ。CSで布マスクを作ってもらえないだろうか。」という要望が届きました。更小は、たくさんの方からマスクのご厚志をいただいているのですが、まだ足りないということでした。

いろいろな方に相談して、6人の皆さんに集まっていただき、三密(密閉、密集、密接)を避け作業をしました。

材料、ミシン等を準備していましたが、普段から布マスクを作っていたらっしゃるようで、ご自宅にある布や自分のミシンを持ち込み、作業をしてくださいました。4時間で目標を超える74枚の布マスクができあがりしました。子どもたちのためにという思いで集まり、マスク作りをしてくださった6名の皆様に、心から感謝を申し上げます。

後日、マスクを作ってくださいました皆様とともに、更小に届けたいと思います。



【集中して作業をされる6名の皆様】

○梶浦さん(前教育委員)につくり方を教えていただきながら作業をしました。

栗田さん、請川さん(サークルコットンママで活動)

佐藤さん(サークルハンドクラフトで活動)

草深さん(教育委員)、寺井さん(教育委員)

☆本当にありがとうございました☆

マスク作りは今後も継続したいと考えています。ご自宅で使わなくなった綿生地やゴムを譲っていただけると大変ありがたいです。(教育委員会へ)